

# 旧妻沼清掃センター解体工事説明会

ダイオキシン類ばく露防止対策要綱に基づく焼却施設解体工事



## 【工事概要】

工事名称：旧妻沼清掃センター解体工事

工事場所：熊谷市弥藤吾字寺窪 547 番地 1 ほか

工事期間：令和 6 年 6 月 26 日～令和 7 年 6 月 30 日

解体施設概要：旧妻沼清掃センター

処理能力：40 t/日 (20 t/8h×2 炉)

工場棟・管理棟：鉄骨造一部鉄筋コンクリート造

地上 4 階地下 1 階

建築面積 約 1,094m<sup>2</sup>

延床面積 約 1,406m<sup>2</sup>

煙突：高さ GL+50m

外側：鉄筋コンクリート造

内側：耐火レンガ

発注者：熊谷市

監理者：中日本建設コンサルタント株式会社

施工者：東洋建設株式会社関東支店

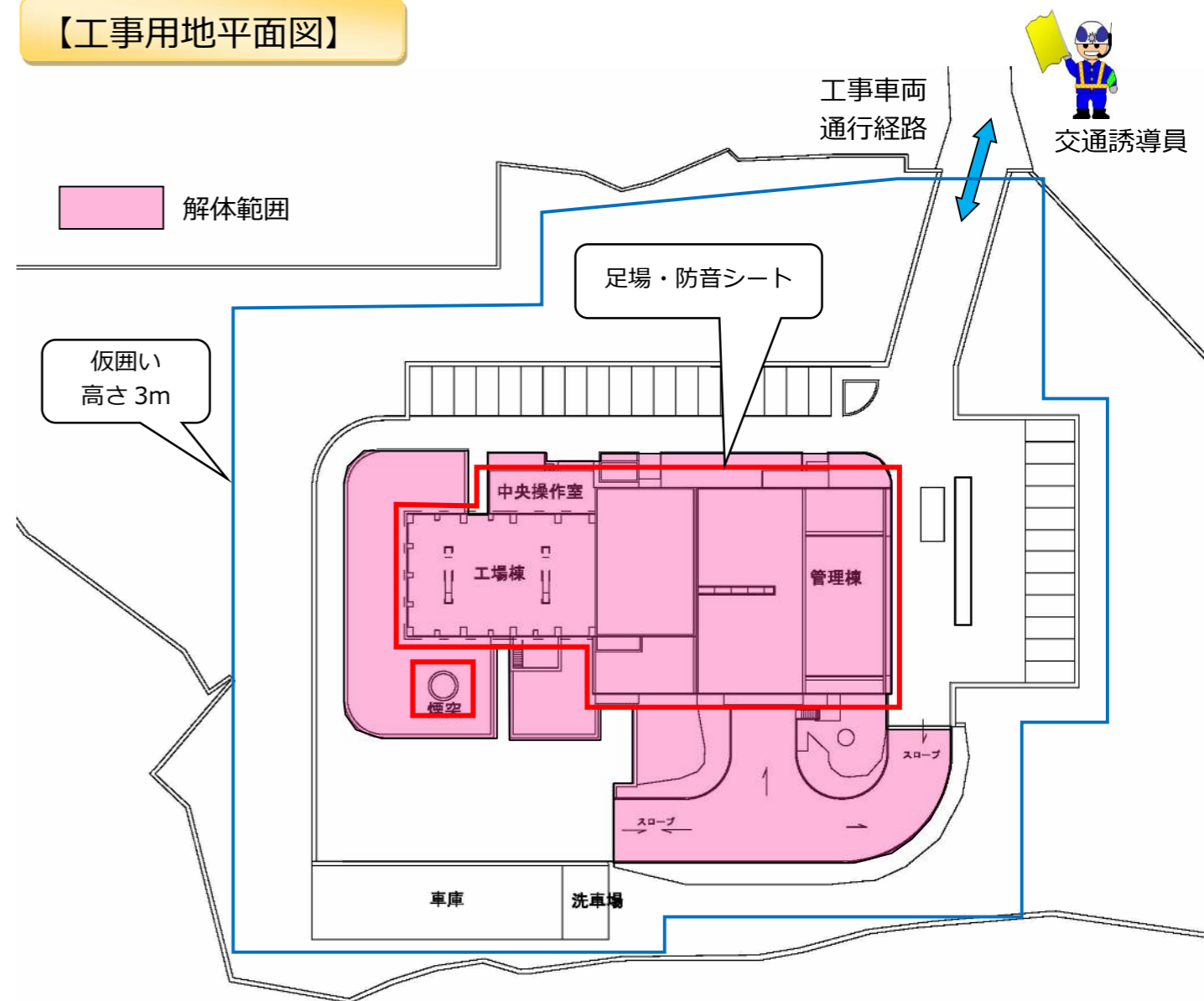
## 【作業日・作業時間】

作業日：平日及び土曜日に作業を行います。日曜日・祝日は原則休工します。

作業時間：8：00 から 17：00 (夜間作業は行いません)



## 【工事用地平面図】



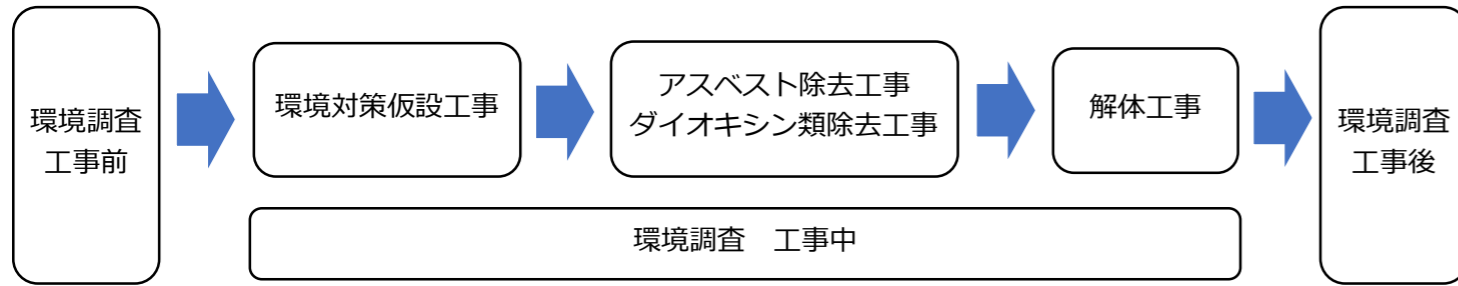
## 【計画工程表】

工種	令和6年					令和7年					
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
施工計画・諸官庁届出	■										
準備工事 (仮囲い)		■									
環境調査 (解体前・中・後)			■	■	■	■	■	■	■	■	■
環境対策仮設工事			■	■	■	■	■				
アスベスト除去工事			■	■	■						
ダイオキシン類除去工事				■	■	■					
解体工事 (建屋・設備・煙突)						■	■	■	■	■	■
場内整備工事、片付け											■

← 解体材搬出期間 →  
10tダンプトラックで搬出します (1日最大20台程度)



## 【解体工事作業フロー】



## 【解体工事内容】

### ◆環境調査◆

解体工事による汚染物の周辺への漏出の有無の確認及び廃棄物の適正処理を目的として、工事前・工事中・工事後に以下の項目の調査を行います。

調査項目	環境要素	調査時期		
		工事前	工事中	工事後
ダイオキシン類	大気質	○	○	-
	水質	○	-	○
	土壌	○	-	○
粉じん	大気質	○	○	
アスベスト濃度	大気質	○	○	○
騒音・振動レベル		○	○	○
解体廃棄物		搬出前		

### ◆環境対策仮設工事◆

アスベストやダイオキシン類の除去作業時は、作業場及び建屋の開口部をテープ又はビニールシート等で密閉養生し、また、作業場内部には負圧集じん装置により負圧に保ち、内部の粉じんが外部に流出しないよう飛散防止対策を行います。作業場の床面は、汚水が土壌中へ漏出浸透するのを防止するためコンクリートを打設します。また、床面はコンクリートブロックの防液堤を設け、汚水の流出を防ぎます。



開口部養生



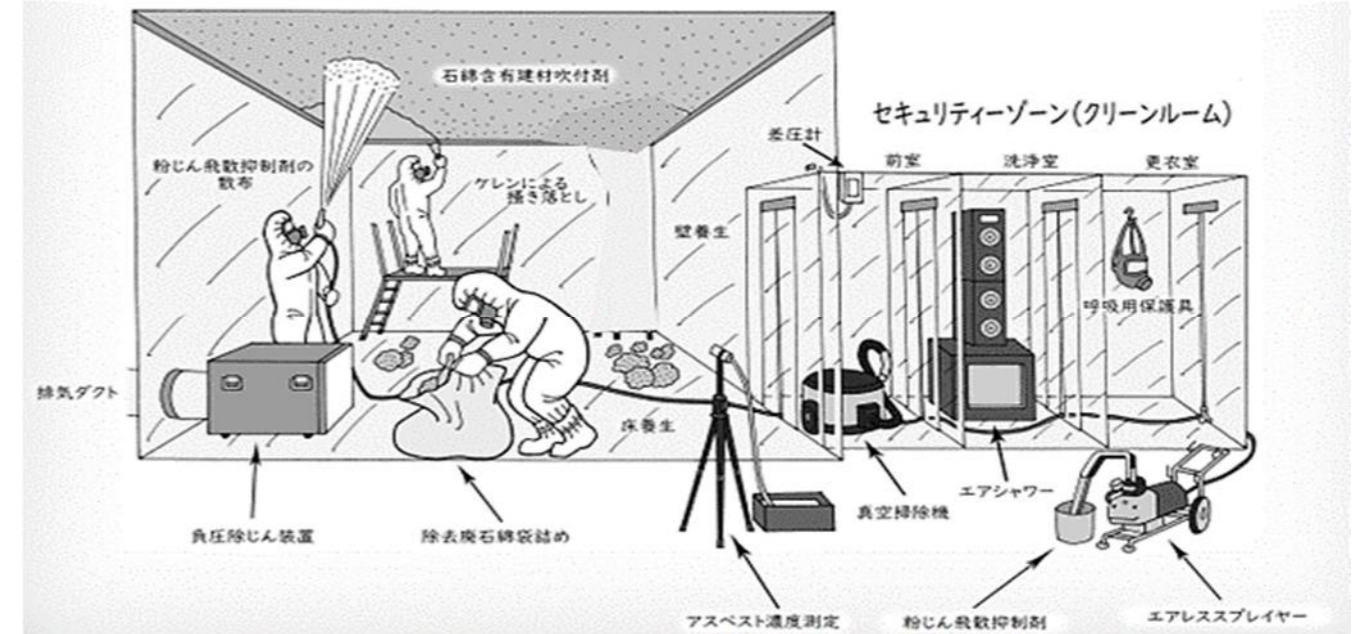
負圧集じん装置



漏水防止防液堤

### ◆アスベスト除去工事

作業場所の密閉養生を行い、建物に使用されているアスベスト建材を撤去します。



### ◆ダイオキシン類除去工事◆

各設備に付着したダイオキシン類を含む付着灰を高圧洗浄により除去します。洗浄作業に伴い発生する洗浄排水は、水処理装置で処理し、循環再利用を行います。処理後の最終残水は、産業廃棄物として適正に処理を行い、外部への放流は行いません。



### ◆解体工事◆

重機を使用して建屋の解体を行います。重機は低騒音・低振動の機械を使用し、圧砕工法で行います。建物の周囲は防音シートを設置し、解体時は散水により粉じんの飛散を抑制します。



## 【交通安全対策】

作業時間中は、正門前の工事車両通行道路に交通誘導員を配置します。正門前の道路を通行する時は、時速 20 km以下を厳守します。